(単位:%)

平成29年度 財政健全化判断比率等の公表

『地方公共団体の財政の健全化 に関する法律』に基づき、平成 29年度の健全化判断比率(実質 赤字比率、連結実質赤字比率、 実質公債費比率および将来負担 比率の総称)および資金不足比率 の指標を次のとおり公表します。

					(+111 . 70)
	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率
平成29年度 幌延町比率	_	_	11.6	_	_
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0	20.0
財政再生基準	20.0	30.0	35.0		

※資金不足比率の場合は、早期健全化基準を経営健全化基準と読み替えます。

健全化判断比率が早期健全化基準を1つでも上回ると財政健全化計画の策定が義務付けられ、財政再生基 準を1つでも上回ると国の管理下で財政再建することとなります。

なお、幌延町の健全化判断比率等は、全ての指標において基準を下回っています。

①実 質 赤 字 比 率:普通会計(一般会計+診療所会計)の実質赤字額が標準財政規模に占める割合

②連結実質赤字比率:普通会計と特別会計(国保・後期高齢・介護・簡水・下水道)の実質赤字額の合計額

が標準財政規模に占める割合

③実質 公債費 比率:一般会計だけでなく、特別会計や一部事務組合の負担分も含む公債費(借入金の返済)

が標準財政規模に占める割合

④将 来 負 担 比 率:一般会計や特別会計および一部事務組合の将来負担すべき負債(公債費や債務負担行

為額および職員の退職金など)が標準財政規模に占める割合

⑤資 金 不 足 比 率:公営企業の資金不足額(簡易水道・下水道:実質赤字額)が事業規模(営業収益-受

(簡易水道、下水道) 託工事収益金) に占める割合

標準財政規模:地方税や譲与税など地方自治体の標準的な税収入と普通交付税や臨時財政対策債の合計額

平成29年度 ふるさと納税の状況

町では、ふるさと納税に該当する寄附金を、ふるさと応援寄附金として採納しています。

採納した寄附金は、寄附者への返納品等経費に充当し、残りをふるさと応援寄附金に積み立てることとし ています。次年度以降に行う各事業にふるさと応援基金から繰入れて、ふるさと納税として採納された寄附 金を活用することとしています。

平成29年度のふるさと応援寄附金の状況は次のとおりです。

_											(半位・111)					
								寄附金		返礼品経費等	基金積立金	平成28年度	平成29年度	平成29年度	平成29年度	
			区	分	分	分		件数	金額	充当額		末基金現在高	利子積立額	基金取崩額		
							T #X	1	(2)	3(1)-2)	(4)	(5)	6	3+4+5-6		
,	ふる	うさ	ک	応	援	寄	附	金	1,086	11,287	6,387	4,900	4,490	10	3,340	6,060
	(1)裙	(1)福祉及び保健に関する事業							116	1,231	697	534	625	1	700	460
	(2)孝	(2)教育及び子育て支援に関する事業						業	336	3,436	1,945	1,491	1,183	3	1,100	1,577
	(3)產	(3)産業の振興に関する事業							147	1,495	846	649	584	1	600	634
	(4)霍	(4)観光の振興に関する事業							122	1,250	708	542	931	2	900	575
	(5)文化及びスポーツの振興に関する事業					É	27	265	150	115	74	0	0	189		
	(6)ð	(6)あなたが守る秘境駅プロジェクト 「マイステーション運動」						7 ト	181	1,960	1,110	850	0	0	0	850
	(7)-	(フ)その他まちづくりに資する事業							157	1,650	931	719	1,093	3	40	1,775

平成29年度 電源三法交付金の使い道

①電源立地地域対策交付金 1億4,952万8,584円

●幌延町立診療所運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60,000,000円

②広報・調査等交付金

1,164万2,094円

……5,964,225円 ●エネルギー関連施設見学会…

···2,108,410円 ●資料収集業務等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3,569,459円

※原子力発電と深地層研究施設に関する知識の普及に関する調査および研修ならびに連絡調整に関する事業に広報・調査等交 付金を充当しています。